目次

まえがき
第一章　序論：歴史にとっての役割　1
第二章　通常科学への道　12
第三章　通常科学の性格　26
第四章　パズル解きとしての通常科学　39
第五章　パラダイムの優先　48
第六章　変則性と科学的発見の出現　58
第七章　危機と科学理論の出現　74
第八章　危機への反応　87
第九章　科学革命の本質と必然性　104
第十章　世界観の変革としての革命　125

第十一章　革命が目立たないこと　153
第十二章　革命の決着　162
第十三章　革命を通しての進歩　180
補　章――一九六九年　197
注　243
訳者あとがき　269